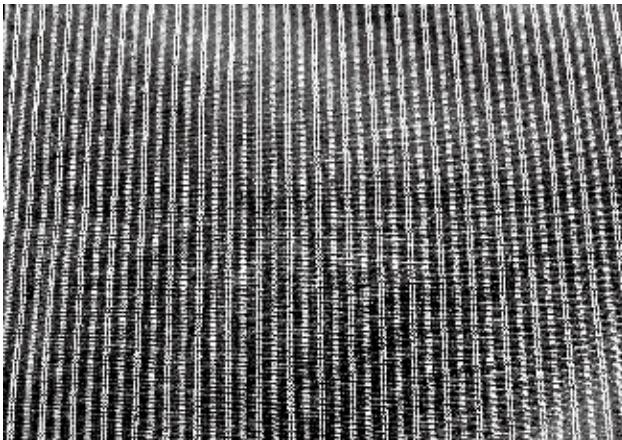


し とく 知っ得 ふん か ざい 文化財

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

おりもの さか つく なか
織物が盛んに作られていました。中でも「唐棧」という織物が有名で、「川越唐棧」と川越の名前をつけて呼ばれることもありました。

①唐棧ってどんなもの？



唐棧織(川越唐棧手織りの会製作)

います。「唐」は、この場合は「外国から来た」というような意味です。「サントメ」というのはインドの南の地方にあったという貿易が盛んだった町の名前です。インドは木綿の産地として有名ですが、そのインド（外国）の、サントメという場所からやってきた織物なので、唐棧織の名前がついたそうです。

②川越と唐棧織

唐棧は、はじめは輸入品しかなく、お金持ちの人しか着ることができないような高級なものでした。しばらくすると日本の中の織物の生産地で、唐棧の真似をした織物を作るようになりました。尾張（今の愛知県）などいくつかの産地がありましたが、中でも川越辺りで織られたものは、質が良く、輸入品に負けないものもあると評判になり、「川越唐棧」（川唐）という名前で呼ばれるほどでした。

明治時代になると、志義町（今の川越市仲町）で絹織物の問屋をしていた中島久平という人が、外国から輸入した質の高い木綿糸を使って唐棧を織ることを考え、実際に作ってみたところ、ますます評判になりました。大変人気があった川越唐棧ですが、機織り機を使って人の手で織られていたため、機械で動く機織り機が広まり始めると、機械織を先に取り入れた他の生産地に勝つことができず、廃れていきました。



機械で織った唐棧織の例

そして今、昔の川越唐棧の着物はほとんど残っていませんが、川越唐棧だとわかる着物と、川越唐棧小布帖（川越唐棧の織物の一部を集めて本に貼ったもの）が、川越市の有形民俗文化財に指定されています。また、一度は織らなくなってしまった川越唐棧ですが、もう一度復活させようという人たちが長年努力した結果、手織りや、機械織りで川越唐棧を再現できるようになりました。その模様や手触りをぜひ確かめてみてください。

第34回 「川越唐棧のお話」

みなさんも着物（和服）を着たことがあるかと思いますが、今では限られた時（七五三や浴衣など）にしか着ないという人が多くなりました。しかし洋服が入ってくる前は普段使いの服として、毎日着ていました。

川越市内やその周辺では、かつて着物の材料にな

教育相談Q&A

◆家に帰ると友達と遊ばない

小学生

[Q] 小学校一年生の娘をもつ母親です。
一学期も毎日元気に登校し、ほつとしているところです。学校では、友達と遊んでいるようですが、放課後は毎日、家に居て一人で過ごしています。本人は絵を描いたり、本を読んだり、楽しそうにしていますが、学校で何かあるのではないか、友達がいなきのではないかと心配になります。親としてどのように接したらよいでしょうか。

[A] 小学校入学はお子さんにとって大きな生活の変化があり、学校生活に適応できるかご心配も多かったと思います。二学期も元気に登校できているのは、ご家庭での温かい見守りがあったからでしょう。

小学校低学年は、まだ行動範囲が狭く、家で過ごす時間が多いのは自然なことです。また、新しい人間関係を築いていくことは、大人でも時間がかかります。学校で必要以上に気を遣つたり、頑張つたりして、精神的に疲れている場合もあります。無理に遊ばせようとせず、お子さんの気持ちを大事にしながら、少しづつコミュニケーションの幅を広げていきましょう。ま

た、お子さんが抱えている問題はないか、注意深く様子を見て把握することは大切です。そこで、次のような関わり方をしてみてはいかがでしょうか。

①家族と一緒に過ごす時間を大切にしましょう。

家庭は、子どもが心と体を休めるところなので、家族の中で安心して過ごせる時間をつくっていきましょう。お子さんとの会話や遊び、家の仕事を手伝つてもらうなどのふれあいを通して、コミュニケーションをさらに深めてみてください。お子さんの興味を持つてることや長所など、新しい発見ができるかもしれません。さらには、学校や地域などのいろいろな行事に進んで参加するなど、さまざまな体験をさせながら、人間関係を広げていく機会をつくつてみるのもよいでしょう。

②学校との連携を密にしましょう。

家庭では見えないお子さんの様子を知るには、担任の先生との連絡を密にすることです。学校と家庭で情報を共有することで、より的確にお子さんの状態を把握できます。また、お母さんの心配されていることを相談し、協力をお願いしていきましょう。もしも、お子さんの様子でさらに気になることがありましたら、川越市立教育センター分室（リベーラ）等にご相談ください。

教育センター分室（リベーラ）
面接相談（予約制）：TEL 234-8333
電話相談：TEL 234-8335

育英資金～借り入れ申し込み案内～ 問い合わせ…教育総務課総務担当TEL 224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸します。

対象（次の要件をすべて満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間=卒業後6か月）

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成28年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

* ①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意しています。市のホームページからもダウンロードできます。（ホームページ=http://www.city.kawagoe.saitama.jp/）

* ⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成29年2月1日（水）～3月2日（木）（厳守）
に教育総務課（市役所東庁舎2階）へ直接持参

区分	貸付額		
	高等教育学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	13,000円
学資金（月額）	私立	20,000円	
	高等専門学校	16,000円	
入学準備金	大学（短期大学含む）	30,000円	
	高等教育学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	150,000円
入学準備金	私立	280,000円	
	高等専門学校	160,000円	
入学準備金	大学（短期大学含む）	360,000円	

* 貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。